

令和7年第3回海陽町議会定例会会議録（令和7年9月8日）

○東議長

皆さんおはようございます。

本日、第3回海陽町議会定例会を開くにあたり、議員各位におかれましてはご多忙の中、ご参集を賜り誠にありがとうございます。

これより、令和7年第3回海陽町議会定例会を開会します。（午前9時31分）

ただいまの出席議員は14名です。定足数に達していますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。

○東議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、議長において、5番 富田議員、6番 叶岡議員を指名します。

○東議長

日程第2、会期の決定についてを議題にします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から9月18日までの11日間としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

○東議長

異議なしと認めます。よって、会期は、本日から9月18日までの11日間と決定しました。

○東議長

日程第3、諸般の報告を行います。

派遣関係につきまして、まず、議長会等については、6月25日、徳島県町村議会議長会役員選考委員会・臨時会、7月30日、徳島県町村議会議長会定期総会、8月8日、徳島県町村議会議長会議員研修会、8月28日、徳島県町村議会議長会広報研修会などに、議長ほか議員が出席しております。

そのほか、6月22日、戦没者追悼式、7月8日、第1回海部消防組合議会臨時会、7月8日、海部郡衛生処理事務組合議会第1回臨時会、7月14日、四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟四国地方整備局要望、7月20日、海部地区無火災祈願式、7月23日、阿佐東線連絡協議会総会、7月25日、海部郡町村議会議員研修会、8月5日、四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟中央要望、8月6日、徳島南部地区四国横断自動車道建設促進期成同盟会中央要望、8月6日、徳島県

後期高齢者医療広域連合議会定期総会及び全員協議会、8月19日、海陽町・東洋町との意見交換会、8月21日、四国新幹線整備促進期成会東京大会、8月22日、徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道・徳島自動車道等整備促進決起大会及び中央要望、8月25日、四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟総会・整備促進大会、8月31日、那賀町町制20周年記念式典などに、議長ほか議員が出席しております。

次に、監査委員より、6月から8月の例月出納検査について、議長宛てに報告がありましたので、ご報告いたしておきます。

次に、教育委員会より、令和6年度教育委員会事務事業点検・評価報告書の提出がありましたので、ご報告いたしておきます。

次に、町長から、お手元にご配布のとおり13件の議案の提出がありましたので、ご報告いたしておきます。

なお、本定例会で受理した陳情書は、お手元にご配布のとおりです。議会運営委員会で審査の結果、所管の常任委員会に付託いたします。

以上で、諸般の報告を終わります。

○東議長

日程第4、行政報告を行います。三浦町長。

○三浦町長

本日、9月議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さま方には、ご多用の中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

9月の定例会以降と今後の展望につきまして、ご報告をさせていただきます。

まず、医師確保について進展がありましたので、ご報告をさせていただきます。

神奈川県鎌倉市出身で、年齢は27歳の森保賢治医師が、9月1日から週4日、総合診療科医師として勤務していただくことになりました。これまで数回、本町や海南病院の見学に訪れ、病院職員の患者さんへの寄り添う気持ち、本町の雰囲気や住民の人柄に触れる中で、海南病院で地域医療をしたいとの思いが大きくなり、先月まで横浜市の病院で勤務されていましたが退職をし、9月から海南病院で勤務していただいています。國永医師、吉永医師、森保医師、谷口診療看護師と中堅・若手医師が増え、神澤院長、日浅地域シニアアドバイザーのサポートもあり、着実に医療体制の充実が図られてきました。さらに、茨城県、群馬県、千葉県、島根県から医師が、休日の日当直の支援をさせていただきたいとの申し出があり、休日の救急患者の対応も充実をしてきております。また、6月議会で承認いただきました、病院見学に係る旅費補助金の効果もあり、県内外から看護師等の見学者が多く、将来、海南病院で勤務していただくことを期待しております。

昨年、放送されておりました岡田将生と中井貴一が主演のテレビドラマ「トラベルナース」

での主人公が診療看護師で、徳島県に1人しかいない診療看護師の谷口NPが海南病院で勤務しておりますし、現在放送中の松本潤主演のテレビドラマ「19番目のカルテ」では、新しく認められてきた総合診療科の先生が主人公で、岡山から2人、そして今回、横浜から1人と、この海南病院で3名の総合診療医の先生が勤務をしております。まさに旬の病院がこの海南病院になりつつありますし、先日、徳島県国保連合会の方が来庁した際にも、県下の国保診療施設が厳しい中、海南病院は元気で頼もしいと言ってくれ、周囲からも注目をされる存在になってきました。他の地方病院では医師や看護師、コメディカルなどの人手不足が以前よりも増して厳しい状態と聞きますので、この流れを止めてしまうと、最末端のこの海南病院は立ち行かなくなると思います。今のタイミングを逃さないようにと職員もさまざまな所に目を向け、とにかくやってみようとの思いで積極的に実践しております。みんなの後押しによって海南病院が未来永劫持続していけるように、そしてそれが住民の安心安全につながっていき、住み慣れた海陽町で生活ができるように取り組んでまいりたいと思いますので、議員の皆さま方の後押しをよろしくお願いをいたします。

それでは各項目に分けてご報告をいたします。

まず、「すみよいまちの実現」についてでございます。

まずは、職員採用についてです。

近年の公務員離れの影響によりまして、職員募集をしても我々のような末端の自治体を希望していただけない状況が生まれております。そこで、採用戦略アドバイザーに、採用支援業務を委託をして応募者を確保できるように、SNSのノートへの記事投稿や採用案内パンフレットの配布、オンライン説明会の開催や移住フェアにおいての募集案内活動、海部高校・阿南高専・四国大学・徳島大学への学校訪問や大学生インターンシップの受け入れなどさまざまな取り組みを行っております。結果、少しは改善してきたものの、現状は非常に厳しい状況でありますので、今後もリクルートに取り組んでまいりたいと思います。

次に、高齢者スマホ教室についてでございます。

昨年から海部高校にお願いをして、高齢者一人一人に付き添い、スマホ教室を受講するサポートをしております。教室後にはスマホ操作の疑問に高校生が応じる相談会を実施するなど大変好評でありまして、地元高校生との交流も兼ねて非常に有意義な時間を過ごしました。スマホの使い方を教えるだけでなく、高齢者と子どもたちとの交流を加えることによって、より血の通った施策になってきておりますので、海部高校にもご協力をいただきながら、今後も継続してまいりたいと思います。

次に、海陽くらし応援商品券事業についてでございます。

昨今の物価高騰に伴い、7月の19日から一人当たり6千円分の商品券を各家庭に配布しております。使用期間は8月の10日～12月の31日までとなっておりますので、ご利用をよ

ろしくお願いをいたします。

次に、図書館の取り組みについてでございます。

海南図書館の新たな取り組みとしまして「デジタルえほん室」を開設をいたしました。学校で使用していたタブレットを活用し、慶應義塾大学大学院のメディアデザイン研究科や溝内先生にご協力をいただきながら、独自で設定したものでありまして、画面をタップすると、実際に動いたり、音が出たりと、子どもたちが五感で体感でき、大人が触っても面白い次世代のデジタル絵本を8機、8タイトル導入をいたしております。まずは試行的に、毎週金曜日の午後2時半から午後5時半まで2階の和室を利用して開設をしておりますので、ぜひお立ち寄りをいただければと思います。

次に、海部野根道路の事業推進についてです。

四国東南部連盟として、7月14日に四国地方整備局に、8月5日に財務相、国交省、地元選出の国会議員へ、そして翌日の8月6日には一般国道55号阿南安芸自動車道整備促進同盟会として財務相、国交省、国会議員へ、8月22日には県主催の阿南安芸自動車道他整備促進決起大会を東京で行い、知事や県議とともに、加藤財務大臣や高橋国土交通副大臣へ要望活動を行いました。国会議員、知事、県議、各首長や民間の方々などの先導のおかげで、どこに要望に行っても返事のトーンが良くなってきているように感じます。今後も命の道の早期事業化と完成に向けて、いろいろな方面からご協力をいただきながら汗をかいてまいりたいと思いますので、皆さま方のご協力と後押しをよろしくお願いをいたします。

次に、穴喰西北地区津波避難タワー整備事業についてでございます。

穴喰西北地区の避難困難地域を解消するため取り組んでいる避難タワーでございますが、9月に住民説明会を開催し、その後、詳細設計に進んでいく予定です。今後、来年の9月着工予定で建設工事に入ってまいりたいと思います。

次に、指揮機関訓練についてでございます。

7月30日に大規模災害を想定した関係機関及び職員による図上訓練を予定をしておりましたが、当日、カムチャッカ半島での地震が起こり、海陽町まで津波注意報が発令をされていたため延期をし、先日の9月4日に再実施をいたしました。当日は、徳島県沿岸でマグニチュード8.2、町内では震度7の地震が発生したものと想定をして、災害対策本部を設置し、住民からの避難状況や傷病者の救助要請、インフラの問い合わせなどの状況を県職員から付与してもらいながら、それに対応していくという本番さながらの訓練でありました。今後も30年以内に80%の確立で起こるといわれている南海トラフ巨大地震に備え、職員のスキルアップのため、引き続き訓練を行ってまいりたいと思います。

次に、海南病院についてでございます。

現在、研修医や学生の受け入れを積極的に行っておりまして、5月と7月に徳大医学科6年

生が2名、9月1日から26日までは広島市民病院の研修医が1名、来年の1月から7月までは徳大医学から5・6年生が最大で8名来て、海南病院で研修を受ける予定となっております。

また、4月からの病院見学の方も医師が2名、医学部教授が1名、看護師が8名、放射線技師が1名、県外からの医大生が1名と海南病院を目指し、たくさんの積極的な医療従事者が来ていただき、また来る予定となっております。今まで医師確保をと言われ続けながら、どこにお願いに行っても「遠いから難しい」と見向きもされなかった病院が、今では行きたい病院になり、冒頭にもお話をいたしました、常勤医師や医療従事者の確保も行えるような兆しが少しずつ見えてきております。日本の地方病院が医療従事者確保に困っている中、海南病院に光が当たっている奇跡のようなこのタイミングを絶対に逃さないように、病院スタッフが一丸となってリクルートをしていきます。そしてスタッフが充実すれば、さらに上を目指して、病院内だけでは留まらず、訪問診療や訪問看護など地域にもどんどん出ていきたいとも考えております。病院の存続は最低条件として、今後は合併当時からの目標でもあった、海南病院を核とした包括医療体制の確立を実現をできるように、さらに取り組みを強化してまいりたいと思います。

次に、「にぎわうまちの実現」についてでございます。

まず、ふるさと納税についてでございます。

昨年度は総額2億2500万円のうち、8月末で個人寄附が3789万3千円、企業版が0件でありましたが、今年度は同じ8月末現在で個人が4672万1千円、企業版が1980万円と合計で6652万1千円の寄附金を頂いており、昨年度の同時期と比べて175・5%の伸びを見せております。このままのペースでいきますと、今年度の目標額3億円をクリアできる数字ではありますが、ここから年末にかけて非常に重要な時期になりますので、年末商戦に向けてしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

次に、合併20周年記念事業についてでございます。

合併から来年の3月31日で丸20年が経ちます。それを受けて、幅広い世代が楽しめるような記念事業の実施を計画しております。来年の3月29日にまぜのおかで開催を予定しております、ステージでの催しはもちろんのこと、飲食や特産品販売、防災展示や海陽町の事業案内コーナー、さらにはキャンプ飯自慢グランプリなど、海陽町の今までの軌跡やこれからの未来など、住民みんなが感じられるようなイベントにできればと思います。

次に、大阪・関西万博についてです。

7月の23日から28日の期間で海陽町ブースを出して、シーカヤック体験や海陽町のグルメ物産、サンゴ模型のワークショップ、自治体トークなど展開をし、マリンレジャーや自然、そして地元の特産品などをPRしてまいりました。大屋根リングのすぐ近く、関西パビリオンの前ということで立地も良く、3日間で約4万9千人の方々が集い、大いに賑わったところで

す。また、デジタルトラベルゾーンでは、海陽町のVR動画と合わせて、パンフレット及び銘菓の配布も実施し、EXPOアリーナのビジョンでは、海陽町の観光動画を放映をしております。先日はサウジアラビア館の方々が海陽町まで足を運んでいただきましたし、これからも世界中の方々が実際に海陽町を体感し、発信していただけるように期待をしております。

次に、合併20周年記念事業宝くじ文化講演についてです。

宝くじの社会貢献広報事業が、本年度、海陽町で開催することが決定をし、合併20周年事業として12月6日に開催をいたします。歌手の天童よしみさんとモト冬樹さんが出演をし、「オーケストラで歌う華の名曲セレクション」と題して、文化村ホールで開催する予定です。前売券は9月16日の9時から販売し、全席指定で一人2枚まで購入可能となっておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

最後に、「はぐくむまちの実現」についてでございます。

まず、在宅育児応援金支給事業についてです。

9月から、0から2歳児までの保育料が無償化になることに伴い、保育所に通っていない生後10カ月から3歳までの世帯へ応援金を支給します。保育の経済的負担の軽減を図るとともに、児童の健全な育成を応援することを目標に、新規事業として計上してまいりたいと思います。

次に、妊婦健診等通院費等補助金の拡充についてです。

7月から海部病院での分娩が休止されたことによりまして、分娩可能な産科医療機関まで概ね60分以上の移動が必要となります。そこで、交通費助成に係る経費が国の補助対象となるため、現行あった通院費に係る助成額を32週目から2千円増額をいたします。

次に母子手帳のDX化についてでございます。

現在の紙の母子手帳を、現代の保護者のニーズに合わせて使いやすいようにするため、スマホアプリ「母子モ」を導入をいたします。これによりまして、今までの母子の記録だけでなく、予防接種管理や各種健診記録、子育て基本情報や地域子育て情報など、必要な情報を最適に届けられるようになります。現在、準備中でありまして、11月1日より「すくすく海陽子育てアプリ」として配信をしていく予定です。

次に、ラーケーションの日についてです。

9月より、町内小中学校でラーケーションの日を導入し、平日でも保護者と子どもたちがラーニングとバケーションを組み合わせた休暇を取れる制度を作りました。年度内に最大5日まで取得することができ、教室の中だけでは得られない保護者との豊かな経験を積むことで、子どもたちが大きく成長していくきっかけになればと思います。ちなみに制度開始が、今年度は2学期からということで、今年度に限りラーケーションの取得は最大で3日までとなっているようですので、子どもたち、保護者の皆さま方のご理解をよろしくお願いをいたします。

次に、大学生と話そう夏休みトークイベントについてです。

7月19日に海南病院と徳大地域医療研究会T-C o Mが共催をして、中高生と医大生とが子どもたちの将来の進路について話をしたり、医療に関わる魅力を伝えたりするイベントを開催をいたしました。当日は10名の中高生が参加をし、医学生や薬学生と気軽に話をし、医療従事者を目指すきっかけになったのではないかと思います。この中から将来、海南病院で地域医療に従事していただける子が出てきて、住民の安心を、そして未来を守ってもらえるように願っております。

次に、ICT教育についてでございます。

現在、来ていただいている慶応義塾大学からの地域おこし協力隊と連携をしまして、小学生の児童が生成AIを活用して町の紹介などを作る授業を行っております。すべてAIに作っていただくのではなく、AIを活用して、質問を投げかけながら独自の視点で地域デジタルアーカイブを作成していくというもので、海部小学校の4年生を対象に授業を実施をいたしました。今後は各小中学校にも広げていき、将来、AIに使われるのではなく、当たり前AIを使いこなせる人材育成に取り組んでまいりたいと思います。

最後に、グローバル教育についてでございます。

9月から、かいよう子ども園でイマージョン教育が始まり、東京都のフェリシア認定子ども園から総務省の地域活性化起業人制度で派遣していただいた先生を中心に、午後の時間を英語環境での保育に置き換えております。また、セブ島で英会話学校を展開をする株式会社QQ Englishと連携協定を締結をしまして、地域活性化起業人制度で2名派遣をしていただいて、こども園と海陽中学校でネイティブ教師として活躍をしていただいております。今後も園児から中学校まで切れ目のないグローバル教育を行っていき、自然と英語が身につく環境を整える中で、海陽町の中学校を卒業したら英語が喋れることを目標に取り組んでまいりたいと思います。

以上、住民の皆さまに知っていただきたい大きな動きをご報告をさせていただきました。

上程しております議案の方でもさまざまな事項はございますが、議案審議の方でご説明をいたしたいと思います。

また、9月定例会は決算月でありまして、監査委員より、令和6年度の決算審査の報告をいただいております。厳正な審査の上、認定をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

昨日、石破総理が辞任を表明をいたしました。現在、与党が衆参で過半数を割り込んでおり、政界の再編が行われていくと予測をされますが、夏の参院選を見るように、新しい政党が風を吹かせる中、どの政党が再編のキーになるのかによって政策の方向性が180度変わる可能性がございます。今後は政治的な動きにしっかりとアンテナを張る中で、国の動向を先読みもしながら、町の政策に合致した補助金等も利用していけるように準備をしていかなければなりま

せん。突然の提案や臨時議会、また国への要望などもお願いをするかもしれませんが、政治的には議員の皆さま方とともに一致団結をして、また行政的には職員一丸となって、海陽町の政策が少しでも有利に進められるように、共に汗をかいてまいりたいと思いますので、引き続き、皆さま方の後押しをよろしくお願いをいたしまして、9月定例会の行政報告とさせていただきます。

皆さん、どうぞよろしくお願いをいたします。

○東議長

これで、町長行政報告は終わりました。

日程第5、議案第51号、決算の認定についてから、日程第17、議案第63号、令和7年度海陽町海南病院事業会計補正予算（第2号）までを一括議題といたします。提案者より提案理由の説明を求めます。三浦町長。

○三浦町長

本日、令和7年第3回海陽町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さま方には、ご多用の中、ご参集を賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、本定例会に提出をいたしました議案の概要等について説明をさせていただきます。

議案第51号、決算の認定については、令和6年度各会計の決算を、監査委員の意見を付して、議会の認定をいただきたく、提案をさせていただきます。

議案第52号、令和6年度海陽町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について及び議案第53号、令和6年度海陽町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、地方公営企業法の規定に基づき、未処分利益剰余金を処分するため、提案させていただきます。

議案第54号、海陽町税条例の一部を改正する条例は、地方税法の改正に伴い、条例の所要の規定を改正する必要性が生じたため、提案させていただきます。

議案第55号、海陽町公共下水道事業減債基金条例を廃止する条例は、下水道事業の地方公営企業法適用化に伴い、基金条例を廃止する必要性が生じたため、提案させていただきます。

議案第56号、令和7年度高校生の居場所新築工事請負契約については、請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決をいただきたく、提案させていただきます。

議案第57号、人権擁護委員候補者の推薦については、由木和幾人権擁護委員が令和7年12月31日に任期満了を迎えるため、同委員を再任の推薦いたしたく、また、西川進人権擁護委員の後任に、吉田由美氏を推薦いたしたく、提案させていただきます。

議案第58号、令和7年度海陽町一般会計補正予算（第2号）は、海陽町合併20周年記念

事業や橋梁修繕事業などの予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。

議案第 59 号、令和 7 年度海陽町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）は、事業勘定においては、出産育児一時金の追加など、施設勘定においては、穴喰診療所照明 LED 化の予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。

議案第 60 号、令和 7 年度海陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）は、システム改修費などの予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。

議案第 61 号、令和 7 年度海陽町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）は、国庫支出金などの精算による返還金などの予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。

議案第 62 号、令和 7 年度海陽町下水道事業会計補正予算（第 2 号）は、ポンプ通信設備改修工事の予算の組み替えをする必要が生じたため、提案させていただきます。

議案第 63 号、令和 7 年度海陽町海南病院事業会計補正予算（第 2 号）は、医療器械購入の予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。

以上、議案 13 件を提案をさせていただきますので、ご審議、ご同意くださいますよう、よろしくお願いをいたします。

○三浦町長

すいません、冒頭、臨時会というふうに申して、訂正をさせていただきます。定例会でございますので、よろしくお願いをいたします。

○東議長

これで提案理由の説明を終わります。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

この後、本議会散会后、文教厚生常任委員会を開催いたします。午後 4 時からは議会運営委員会を開催いたします。

9 日、火曜日、午前 9 時 30 分から総務産業建設常任委員会を開催いたします。

10 日、水曜日は委員会の予備日とし、11 日、木曜日、午前 9 時 30 分より本議会を再開いたします。

本日はこれで散会いたします。（午前 10 時 08 分）

ご苦労さまでした。

左記の会議録を作成し、その内容に相違なき事を証明するためここに署名する。

海陽町議会議長

海陽町議会議員

海陽町議会議員